

敬語の種類と使い方

日本語では、目上の人を敬う気持ちを表す時や、たくさんの人に対して、ていねいに物事を伝える時などに、敬語を使います。場面にあった言葉使いが出来るように、正しい敬語を覚えましょう。

尊敬語

「尊敬語」は、相手を高めて敬う気持ちを表す言葉で、次のような時に使います。

- 目上の人に対して話す時や、手紙などを書く時。
- 他の人との会話の中で、目上の人のことを話題にする時。

尊敬語には四つの種類があります。

1 特別な言葉を使ったもの

人に何かを頼む時に使う「○○してください」という表現の「ください」は、尊敬語「くださる」が命令形という形に変わったものだよ。

- おっしゃる (言う)
- くださる (くれる)
- ご覧になる (見る)
- いらっしゃる (いる・来る・行く)
- なさる (する)
- おいでになる (いる・来る・行く)
- めしあがる (食べる・飲む)

2 「お・ご○○になる」という言い方

- 校長先生が賞状をお読みになる。
- お客様がご利用になる。

3 「○○れる・られる」という言い方

- 先生が教室に入られる。
- 高橋さんが手紙を書かれる。

4 相手の持ち物や動作を表す言葉の上に「お」や「ご」をつけたもの

- お食事
- お時間
- お返事
- ご入学
- ご両親
- ご家族

けんじよう語

「けんじよう語」は、自分や自分の身内の人、自分の動作をへりくだって表す言葉です。へりくだることで、相手を高め、敬意を表します。けんじよう語には次の二種類があります。

1 特別な言葉を使ったもの

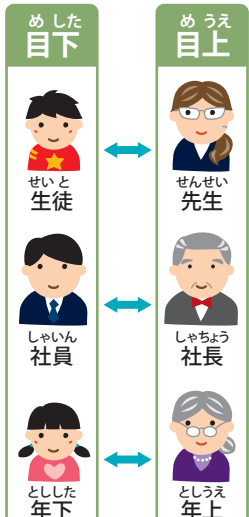
- 申す・申し上げる (言う)
- いただく (食べる・飲む・もらう)
- 拝見する (見る)
- うかがう (行く・たずねる・聞く)
- さしあげる (あげる)
- 参る (来る・行く)
- いたす (する)
- おる (いる)

2 「お・ご○○する」という言い方

- 手荷物をお預かりする。
- プログラムをお読みします。
- 会場にご案内する。
- 新しい先生をご紹介します。

目上と目下

「目上の人」とは、自分より地位が高い人や、年上の人のことです。目上に対して、地位や年齢が低い人を目下といいます。



ていねい語

「ていねい語」は、目上の人や、大勢の人、あまり親しくない人に対して話す（書く）時に使う、ていねいな言葉です。

ていねい語には次の二種類があります。

①「です」「ます」「ございます」を文の終わりにつける言い方

- 私は小学六年生です。
- 明日は雨でしょう。
- 学校へ行きます。
- 歌を歌いましょう。
- おはようございます。
- 昨日は日曜日でした。
- 走るのは好きですか。
- 電車に乗りました。
- 道順を知っていますか。
- ありがとうございます。

②言葉の上に「お」や「ご」をつけたもの

- お菓子
- お手紙
- おすし
- お弁当
- お店
- お花
- お水
- ご飯
- お茶
- ご本
- お風呂
- お風呂
- ごほうび

※教科書や辞典によっては、種類の分け方が違う場合もあります。

一つの文章の中の敬語

一つの文章の中に、いくつかの敬語が入っていることがあります。

例 案内係は、発表会にいらっしやるお客様に、

プログラムをお渡しして、席にご案内します。

「尊敬語」「敬語」「ていねい語」が混ざって入ってるね!

けんじょうご

ていねいご

よくある間違い

日本人にとっても、敬語を正しく使うのは難しく、間違った表現が多く見られます。よくある間違いの例を見てみましょう。

①二重に敬語を重ねてしまう

- お客様がお帰りになられる。
- お客様がお帰りになる。／お客様が帰られる。

「お○○になる」と「○○られる」の二つの尊敬語が重なっているから!

- 明日、うかがわさせていただきます。
- 明日、うかがいます。

「うかがう」と「いただく」の二つのけんじょうごが重なってる!

- 先生様のお話／社長様をご覧になる。
- 先生のお話／社長がご覧になる。

「社長」「先生」「様」などは、どれも敬称といって、敬う気持ちを表す言葉なので、二重重ねては使わないよ!

- お客様がお茶をいただきます。／先生が参られる。
- お客様がお茶をめしあがる。／先生がいらっしやる。

「いただく」や「参る」は、けんじょうごだから、目上の人に使ってはいけないよ。

③何にでも「お」「ご」をつける

- 先生が、黒板に漢字をお書きになる。
- 先生が、黒板にお漢字をお書きになる。

「黒板」や「漢字」などには、「お」や「ご」をつけません。「お客様のお部屋」にお荷物をお運びする「なご」は間違いではありませんが、くどくて聞きづらい表現です。「お」が何度も重なる時は、別の言い方を工夫してみましょう。